

大正大学

障がい学生支援のご案内

～すべての学生にとって学びやすい環境を～



【問い合わせ先】

大正大学 学生支援部 学生課 障がい学生支援担当

電話：03-5394-3020

e-mail：gakusei@mail.tais.ac.jp

窓口時間：平日 9：00～18：30

土曜 10：00～13：20

14：20～16：30

大正大学ではさまざまな学生が学んでいます

※移動が大変な人がいます

けがや病気のために、また生まれながらに歩くことが困難な人がいます。そういった人たちには車いすは欠くことのできない道具です。ちょっとした段差や大勢の人が出入口にいと、身動きができなくなってしまいます。

※「どこに何があるか」見えない人がいます

初めて行く場所は、目の不自由な人にとって、どこに何があるか分からないだけでなく、ちょっとしたことでも常に危険と隣り合わせです。

※アナウンスやチャイムが聞こえない人がいます

生まれながらに耳が聞こえない人、病気等で耳が聞こえない、聞き取りにくい人がいます。様々な音の情報が聞こえないことで、状況がわからないので、とても不安です。

「不便さ」は機械や設備だけで解決するのでしょうか？

施設を改善したり、最新式の機械に取り換えて便利になることもあります。でも、それだけでは解決しません。



これでは、目の不自由な人には、大きなバリアです。

エレベーターは、みんなのためのものだけど…「階段で移動できない」人がいます。



大学は障がいのある人を取り巻く4つの「バリア=障壁（かべ）」をなくす取り組みをしています。

皆さんもできるところから取り組んでみましょう。

1. 歩道の段差、車椅子使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差などの物理的な障壁
2. 障がいがあることを理由に資格、免許などの付与を制限するなどの制度的な障壁
3. 音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面での障壁
4. 心ない言葉や視線、障がい者を「庇護されるべき存在」としてとらえるなどの意識上の障壁

✿お手伝いのときの心構え✿

困っている人を見かけた時の声のかけかた…

✿まず、声をかけてみましょう

本当はどんなことで困っているのか、どうしてもらいたいと思っているのかは、直接本人に尋ねてみないとわからないものです。なかには、できるだけ自分の力でやりたいと思っている人もいます。まずは、声をかけてみることから始めましょう。

何か
お手伝い
することは
ありますか



✿断られても、がっかりすることはありません

車いすの人や目の不自由な人でも、毎日通る場所や日々の同じ行動には慣れているので、お手伝いを必要としないこともあります。断られても、決してがっかりすることはありません。相手にはあなたの親切は伝わっています。

✿相手が何を手伝ってほしいのかを聞きましょう

障がいの程度は人によって、それぞれ違います。手伝ってほしいことも人それぞれです。良かれと思ってしたこと、その人にはいやな思いをさせるかもしれません。勝手な思い込みや判断をしないで、その人が何を必要としているかをよく聞くことが大切です。

✿決して無理はしないようにしましょう

無理をしてけがをしたり、させたり、怖い思いをしてしまつては、せっかくのお手伝いも逆効果です。

「自分ではできないかも」「ちょっと自信がない」と思ったら、まわりの人に声をかけ、手伝ってもらいましょう。

〔参考〕国土交通省関東運輸局『「こころのバリアフリー」ガイドブック〕

〔URL〕http://www.twb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/barrier_free/date/guide_book180327.pdf

障がいのある学生の修学支援に関する大正大学の基本姿勢【要約】

大正大学は、仏教の基本思想である「智慧と慈悲の実践」を建学の精神とし、これに基づいた教育ビジョンとして「4つの人となる」を掲げています。この建学の理念、教育ビジョン、TSR シップに照らして、障がいのある学生が障がいのない学生と同等の教育を受ける権利を実現できるよう実質的に努力することは、本学の重要な社会的責任の一つです。以上の認識のもとに、本学が障がいのある学生に対しても開かれた大学となるために、その修学支援に関する基本方針を示します。

1. 障がいのある入学希望者・学生が、他の者と同等の条件が実現されるよう必要かつ適切な支援と合理的配慮を、全学的に連携して行うことを目標とします。
2. 本学の施設・教育におけるバリアフリー化は、十分な状況ではありません。現状を定期的に点検・検討して、ハード・ソフト両面の環境整備を順次すすめていき、整備状況は公表します。
3. 障がいのある学生に対する修学支援は、すべての学生にとって学びやすい環境を整備することになり、多様な人たちとの共生への理解にもつながることであると認識のもとに、教育・啓発活動を推進して周囲の学生や教職員の理解を深めていきます。

申し込みから支援開始まで

相談

支援を希望する学生は、学生課の窓口にご相談ください。
(窓口時間内であれば、電話でも可)



面談

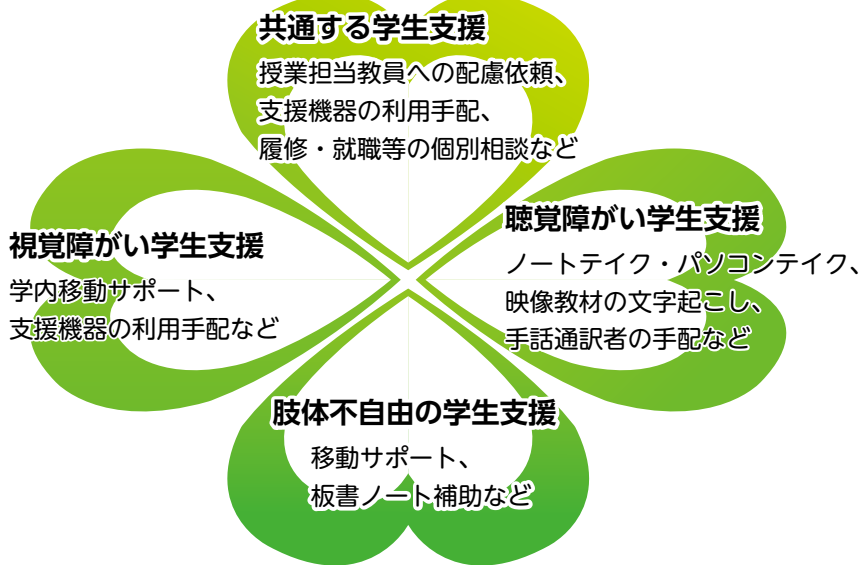
どのような支援が必要か本人、(保護者)、教員、サポート担当職員等で面談をします。



決定

面談後、申請書を提出していただきます。学内の会議を経て、支援内容が決定します。
(なお、配慮にあたっては障がい手帳や診断書等の提出をお願いしています。)

本学では、本人の申し出を受けて以下の支援を中心に行っています



ご相談ください

サポート実施

支援内容が授業配慮に及ぶ場合は、「配慮願」を学生課から授業担当教員に渡します。
支援を希望する学生と定期的に面談の上、支援内容は必要に応じて変更します。

交流会

支援を希望する学生および支援を担当する学生との交流会を定期的に行っています。

障がい学生の支援者を募集しています！！

- ノートテイク
(聴覚障がい学生のサポート)



「音」を文字にして伝えます。
2人ペアで行います。
要約力や集中力が身につきます。

- サポートスタッフ
(車いす学生等のサポート)



教室間の移動補助やノート取りなど自分が授業を受けているように支援します。
「できるように促す」支援です。

事前に講習会を受けてからサポートに入ります！みんな未経験者です！

手話などの特別なスキルは必要ありません！

支援を行うと手当をお支払いするボランティアアルバイトです！

授業の空きコマに学内で行います！時間を有効活用しよう！

長期休みにも支援をお願いすることがあります！

支援について

対 象：全学生（学部生・大学院生） 学部・学科は問いません！

身 分：ボランティアアルバイト

活 動：4月～7月・9月～1月

活動日は、授業等の空き時間（週1回～3回程度）

（集中講義、講習会など特別日程の場合あり）

手 当：1コマ（100分）1,700円

※映像の文字おこしにも手当が付きます。

登録先：学生課

◎ノートテイク・サポートスタッフのいずれか、またはどちらにも参加
できます。

◎募集はT-Poで案内します。

◎所定の講習会を受講後、ボランティアアルバイトとして活動することが
できます。

ノートテイク・サポートスタッフになるには！

学生課窓口へ
申し出



講習会受講



空きコマで、
サポート開始！

先輩からの
メッセージ


- ◎ 責任感をもって取り組んでいます！
- ◎ 支援を利用している学生とコミュニケーションをとりながら活動し、元気をもらっています！
- ◎ 先輩テイクカーからアドバイスをもらって支援します！

支援を利用
している
学生からの
メッセージ


- ◎ 初めての人も一所懸命に支援してもらえて嬉しいです！
- ◎ 様々な学生に自分のことを知ってもらって良かったです！


大正大学 バリアフリーマップ





 車いす対応トイレ


 オストメイト対応トイレ


 車いす対応エレベーター

 車いす対応駐車区画

 おむつ交換台

 バリアスロープ

 ベビーチェア

 AED (自動体外式除細動器)

URL https://www.tais.ac.jp/life/support/barrier_free/